

「消防団の力向上モデル事業」 事業紹介

事業名 住宅密集地や長時間の火災に対応するための資機材取扱訓練

自治体名

東京都町田市

消防団名

町田市消防団

1 事業の目的

町田市は住宅密集地や狭隘な道路が多く、大規模災害においては消防車両が入れず延焼が拡大し、長時間の消火活動も及ばず甚大な被害が想定される。住民の安心安全及び消防団の消火活動における消防団員自身の安全の確保を前提に、町田市で想定される災害に対応するための資機材の技術習得を目的とする。

2 事業内容

■概要

本モデル事業では、2024年冬の出火時期までに東京消防庁が推奨する資機材（ガンタイプノズル他）を各部に整備し、実際に資機材を使用した研修と夜間までに及ぶ災害を想定した訓練を行った。

■実施内容

消防団を対象に、新たに資機材（ガンタイプノズル、LEDミニバルーンライト、LED投光器、コードリール）を配備し、災害対応時の消防団員の安全を確保するとともに、長時間の火災対応や狭隘な道路に面した火災対応を想定した資機材取扱説明会及び訓練を、常備消防である東京消防庁町田消防署と連携し実施した。

3 事業成果

住民の安心安全及び消防団の消火活動における消防団員自身の安全の確保を前提に、町田市で想定される災害に対応するため、資機材の技術習得につながる講習・訓練を実施した結果、消防団員自らの安全と地域住民の安心安全に寄与することにつながった。

■具体例

資機材取扱訓練を実施することで、安全かつ確実な操作方法を習得し、長時間の消火活動などでの団員の負担軽減や、団員の安全確保にも繋げることができた。

ガンタイプノズル、LED照明においては、町田市の特徴である狭隘な道路に面した場所や住宅密集地などの狭い空間での取り回しがきくことや、長時間の火災対応など現場の状況に適時・的確に対応することができた。

また、LEDのバルーン投光器においても、夜間の火災対応などで効果を発揮することに繋がっている。

4 目標達成状況

指標	単位	当初目標	実績値	備考
講習会及び説明会	回数	3	3	消防団会議等を利用して、資機材の取扱いの方法や訓練に向けた説明・勉強を実施。また、常備消防による講習会を実施。資機材の取り扱い技術習得のため、機関連用訓練で取扱研修を行った。
資機材取扱訓練	回数	3	3	
資機材取扱訓練参加者	人	150	173	

5 その他参考情報

ガンタイプノズルとLED照明を使用した火災現場での活動に対し、令和7年2月20日（木）消防総監賞及び防災部長賞を受賞

[町田市消防団が表彰されました。](#) | [首都東京を守る消防団](#) | [東京消防庁](#)

